

## 専攻実習 I

講師名	仲條 眞介	実務経験等	県農業研究センター・農業改良普及センターでの専門研究員・普及指導員としての経験を活かし、水稲及び主要畑作物(大豆・小麦等)の基本的栽培技術を習得するための実習を行う。
-----	-------	-------	---

科目区分	学科・経営科	必修・選択 (必修、自由)区分	履修 学年	開講 学期	標準 時間	単位数
農産園芸学科・専門科目	農産園芸・農産	必修	1	通年	360	8
使用教科書・副教材	『農学基礎セミナー 新版 作物栽培の基礎』(農山漁村文化協会)、『いわての農作物雑草図鑑(改訂版)』(岩手県植物防疫協会)、病害虫・雑草フィールドブック【水稲編】(全国農業会議所)、『2021年度岩手県農作物病害虫・雑草防除指針』(岩手県)【※使用する教科書・副教材は稲作栽培 I と共通】					
授業の目的	水稲および主要畑作物(大豆・小麦等)の基本的栽培技術を習得し、プロジェクト研究や2年生の卒業研究を通して、様々な栽培技術や課題決手法を学ぶ。					
授業の到達目標	水稲および主要畑作物(大豆・小麦等)栽培における機械作業方法及び生育収量調査手法を理解し、自ら栽培管理作業・調査集計ができるようになる。					

月	学習項目	学 習 事 項	時 間	授業 形式	備 考 (提出物等)	
4月	水稲育苗管理技術	種子予措、は種、ハウス準備、育苗管理、ほ場準備技術を習得する。	14	実習		
	ASIAGAPの取り組み	GAPの理念、管理点と適合基準の概要、施設の利用方法について学ぶ。	2	講義		
5月	水稲移植と管理技術	圃場準備(施肥、代かき)、機械移植・直播栽培、移植後の管理技術を習得する。	48	実習		
	ASIAGAPの取り組み	適用範囲、農場体制、作業手順書を学ぶ。	4	講義・実習		
6月	分けつ期の管理技術	生育調査法、雑草防除、畦畔管理技術、大豆播種技術を習得する。	18	実習		
	ASIAGAPの取り組み	農場管理及び実績記録方法を学ぶ。	4	講義・実習		
7月	病害虫防除技術	病害虫診断、栄養診断法、生育調査実施、畦畔管理法、小麦収穫法を習得する。	20	実習		
	施肥管理技術	斑点米カメムシ防除技術を習得する。				
	出穂期頃の管理技術	卒業研究の進め方を学ぶ(中間検討会)	4	検討会		レポート
	卒業研究計画策定	農業使用計画、農業散布手順を学ぶ。	2	講義・実習		
9月	成熟期の管理技術	成熟期調査法、坪刈調査法を習得する。コンバイン等機械収穫・調製技術を習得する。	44	実習		
	ASIAGAPの取り組み	食品安全における前提条件プログラム及び生産工程における食品安全に関するリスク管理を学ぶ	6	講義・実習		
10月	収穫期後の管理技術	収穫・調製作業、農産物販売出荷に係る作業手法を習得する。	26	実習	成果パネル	
	ASIAGAPの取り組み	ASIAGAP審査に向けた取り組み(10/上)	4			
	農産物販売手法	農産物販売手法、プロジェクト成果発表を学習(農大祭)。	16			
11月	調査分析技術	収量構成要素調査、玄米品質調査技術、米の食味関連分析技術を理解する。	24	実習		
	卒業研究計画策定	卒業研究発表手法を学習する(科別卒研発表会11/30)	8			
	ASIAGAPの取り組み	取組のふりかえり	4			講義
12月	卒業研究計画策定	卒業研究発表手法を学習する(科別卒研発表会12/1、全体発表会12/15)	16	発表会		
		卒業研究計画書の作成手法を習得する。	24	実習		
1月	卒業研究計画策定	卒業研究計画書の作成手法を習得する。	26	実習		
		1/21経営科内卒業研究計画検討会	4	検討会		
2月	卒業研究計画策定	卒業研究計画書の作成手法を習得する。	26	実習		
3月	卒業研究計画発表	卒業研究計画書の作成と発表手法を習得する。	8	実習	卒研計画書	
		卒業研究計画発表会	8	発表会		
合計			360	時間		

### 成績評価の方式(評価項目、評価の観点、割合等)

技術習熟度、実習態度、提出物の内容、出席状況により評価する。

評価割合：習熟度60%(技術の習熟度・レポート)、平常点40%(出席状況、実習態度、提出物)

### 履修に当たっての留意点等

- ・実習中の説明を記録するため、メモ帳、筆記用具を必ず携帯すること。
- ・天候などの事情により、ほ場での実習を教室での授業に変更する場合がある。
- ・作業着、手袋、帽子、長靴、雨具等、内容・天候に応じた服装で安全作業に努めること。